

仙台市長 郡 和子

みなさんは今、将来に向けて夢や希望を抱いたり、これから自分のやりたいことを見つけるためにいろいろなことに挑戦したりしていることと思います。将来どんな仕事に就きたいか、まだ具体的に決まっていな人も、すでに目標がある人も、職業について考えることは、自分の未来を切りひらく上でとても大切なことです。この「おしごとBOOK」には、みなさんが将来を考えるためのヒントがたくさん載っています。

仙台市では、職場体験など、みなさんが将来、社会の中でたくましくしなやかに生きていくために必要な能力を身に付ける取り組みを進めています。

みなさんの夢の実現のために、私も全力で応援しています。



○郡 和子(コオリ カズコ)

仙台市出身。昭和54年に東北放送(株)へ入社。平成17年に衆議院議員選挙で初当選。内閣府大臣政務官、東日本大震災復興対策担当大臣政務官・宮城県現地対策本部長、内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官を歴任し、平成29年8月仙台市長に就任。現在2期目。

どんな仕事に
就いたらいいの?



例えば 人の役に立つ仕事、 生活を豊かにする仕事をする

警察官や消防士のように人々の安全を守る仕事や、公務員のようにみなさんの生活を豊かにするため、地域を良くするために仕事をする人もいます。



例えば 自分の能力を 生かした仕事をする

スポーツ選手はチームに入ったり大会に出場したり、芸術家は自分の作品を売ったりして収入を得ています。



例えば 資格を取って仕事をする

弁護士や医師、看護師、薬剤師は、資格を取ってその職業に就きます。国が定めた資格だけではなく、働く上で便利な民間資格もあります。



例えば 生活を便利に、 楽しくする仕事をする

自動車の販売や工場の仕事、飲食店の仕事は、人々の暮らしを便利にしたり、生活を楽しくしたりしてくれています。



例えば 好きなことを 仕事にする

ゲームが好きな人がゲームクリエイターになったり、洋服が好きな人がデザイナーになったりと、好きなこと、得意なこと、興味があることを仕事にする人もいます。

